



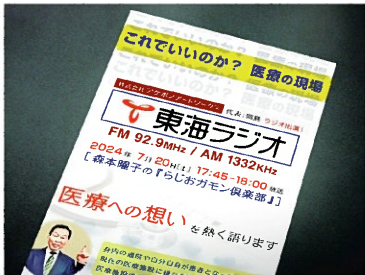
## ARCHITECTURE REVIEW



### 建築見て歩記 その96

山口県にある「秋吉台国際芸術村」です。磯崎新の設計で、1998年に完成しました。全体は、芸術家たちのアトリエやレッスン室、宿泊施設、食堂の複合施設です。写真はそこに唐突に建つ、殆ど用途のない建築で、彼の住宅処女作品、1964年「N邸」の再現です。この作品への強い思い入れを感じます。内部の床には、かつての間取りを示すラインが引かれています。

## CURRENTLY WORKS



### 医療への提言…弊社代表 岡島がラジオ出演！

7月20日(土) 17時45分～18時放送の「東海ラジオ (FM92.9MHz / AM1332KHz)」の番組、『森本曜子のらじおガモン倶楽部』に、岡島が出演します。岡島の「医療」への想い…若い頃から感じてきた事や自身の患者としての体験、さらに仕事として携わってきた多くの経験を踏まえて様々な視点からパーソナリティと共に熱く語ります。ぜひお聴きください！

## PRIVATE TOPICS



### 藤原のこだわり その20

源光庵は京都にある曹洞宗の寺院です。ここには「迷いの窓」(四角)と「悟りの窓」(丸)があります。「迷いの窓」は、生涯逃れることのできない苦難を表わしており、「悟りの窓」は「禅と円通」を表わし清らかで自然の姿＝悟りの境地を意味します。私はまだ悟りの境地には達していませんが、窓に切り取られた庭の美しさには感動しました。

## EDITIONAL NOTE

7月には「七夕」がありますが、笹の飾りには、願い事を書いた短冊の他にもいろいろな意味があります。お金に困らないように「巾着」、海の恵みへの感謝をこめて「投げ網」、家族の長寿の願いを込めて「折鶴」、着る物に困らないようにと「紙衣」など、色紙を切抜いた形にこんな意味があるのですね。

編集担当：太田・藤原、監修：岡島